

平成25年度 第3回地域力創造セミナー

～生業づくりや定住に必要な知識と意欲の育て方を考える～

人口減少社会の到来や地方分権改革の進展など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成やコミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。

このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供することを目的に「地域力創造セミナー」を開催します。

第3回セミナーは、「生業づくりや定住に必要な知識と意欲の育て方を考える」を全体テーマに、総務省『地域力創造のための起業者定住促進モデル事業』の派遣地域を題材に、外部人材と外部専門家の力を活かした地域活性化の進め方・ポイントについて具体的に考えます。



自身の起業・定住・定着に向けた活動プランの検討
(滋賀県湖南市)



隊員、行政、地域の三者による
月1回の地域おこし協力隊調整会議
(長野県阿智村)

平成25年11月19日(火)～20日(水)の二日間

11月19日(火): 「講演の部」 滋賀県湖南市 サンライフ甲西

11月20日(水): 「現地見学の部」 滋賀県湖南市内

入 場 無 料

本セミナーの特長

- ★「地域人材ネット」に登録する専門家等が講師となった、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
 - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
 - ★名刺交換会、交流会を通じて、講師や受講者間でネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」: 地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。
- 地域人材ネット Web アドレス: <http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

本セミナーの受講の対象者

- 地域づくりを実践・支援する、あるいは関心のある行政職員
- NPO、まちづくり団体等の職員の皆さん、あるいは地域づくりに関心がある住民の皆さん
- 地域おこし協力隊員の皆さん

お申込みの方法

- 本セミナー運営事務局「価値総合研究所ホームページ」、または、FAX(03-5205-7922)でお申し込みください。
- ★「講演の部(19日)」の定員は80名、「現地見学の部(20日)」の定員は20名となります。どちらも先着順とさせていただきます。
- ★お申込みの締切は平成25年11月18日(月)15時となります(定員に達した時点でも締切となります)。

第3回セミナーの内容

■講演の部（11月19日（火））

●開会（13:15）

●講演

○リレーセッション（講演）1（13:35～14:35 60分）

「地域おこし協力隊員の企画力、提案力、行動力の育成に向けて」

講師 木村 乃 氏（ビズデザイン株式会社 代表取締役）

（平成24年度派遣地域：湖南省）

<休憩>

○リレーセッション（講演）2（14:50～15:50 60分）

「地域の文化や歴史から見つける生業と定住に向けて」

講師 高橋 寛治 氏（地域プランナー）

（平成23年度派遣地域：阿智村）

○リレーセッション（講演）3（15:55～16:25 30分）

「地域おこし協力隊から定住へ」

講師 多田 朋孔 氏（NPO法人十日町市地域おこし実行委員会 事務局長）

<休憩>

○パネルディスカッション（16:40～17:40 60分）

テーマ：「生業づくりや定住に必要な知識と意欲の育て方を考える」

コーディネーター：大槻 大輔 氏（総務省地域自立応援課人材力活性化・連携交流室長）

パネリスト：木村 乃 氏

：高橋 寛治 氏

：多田 朋孔 氏

●閉会（17:40）

●名刺交換会（情報交換会）（17:40～18:00 20分）

●交流会（18:30～20:00 90分）

■現地見学の部（11月20日（水））

●集合・移動（8:30）：JR草津線甲西駅北口 集合予定

●現地見学（9:00～14:00）

・湖南省の外部人材（地域おこし協力隊員）が活動している現場見学（バスを利用）

・木村講師、市担当者、地域おこし協力隊員による解説

●移動・解散（14:00）：JR草津線甲西駅北口 解散予定

※事情によりプログラムの一部を変更する場合があります。

※「現地見学の部」だけの参加はご遠慮ください。

※交流会参加費は3,500円となります（参加費は当日交流会場にて集金いたします）

申込先

【お申し込み先：事務局】

株式会社価値総合研究所 地域力創造セミナー係

担当：八木、目黒

TEL：03-5205-7901 FAX：03-5205-7922

E-Mail：seminar@vmi.co.jp

【お問い合わせ先：主催者】

総務省地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当：齊藤地域支援専門官、高橋係長、竹内

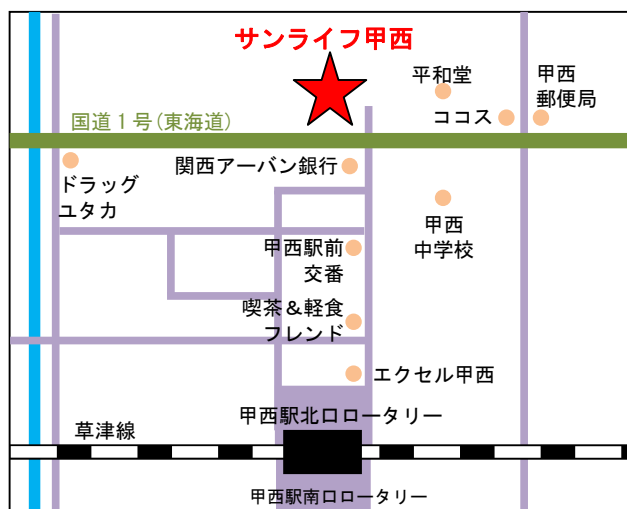
電話：03-5253-5392 FAX：03-5253-5537

メール：chiikikasseika1@soumu.go.jp

価値総合研究所ホームページからのお申し込みはこちらから

<http://www.vmi.co.jp/symposium/business/h25chiikiryoku2.html>

セミナー会場（サンライフ甲西）までのアクセス



サンライフ甲西

滋賀県湖南市中央一丁目 1 番地 1

TEL : 0748-72-4708

◆鉄道利用

JR 甲西駅北口下車 徒歩 約 5 分

◆車利用

名神栗東インターより水口方面へ国道 1 号線を約 10km。甲西駅口交差点そば

※駐車場には限りがございますので予めご了承ください。

申し込み欄（FAX 申込み用） FAX 番号：03-5205-7922

| | | | |
|------------------------------------|--|-------|-------|
| お名前 (ふりがな) | | | |
| E-mail アドレス | | | |
| 電話番号 | | | |
| 携帯電話番号※ | | | |
| ご所属 | (所属名) | | |
| | (部署名) | (役職名) | |
| | (地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) | | 年 |
| 外部専門家の活用 状況 | ①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、 ⑤導入3年目、⑥4年以上、⑦不明 (いずれかにひとつに○を付けてください) | | |
| 地域おこし協力隊 の状況 | ①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、 ⑤導入3年目、⑥不明 (いずれかにひとつに○を付けてください) | | |
| 参加者名簿への お名前等の記載 | 可 ・ 否 (どちらかに○を付けてください) 皆様方のネットワークづくりの一環として当日に参加者名簿を配布する予定です | | |
| 参加 区分 | 交流会 | 参 加 | 不 参 加 |
| | 現地見学 | 参 加 | 不 参 加 |
| 講師にお聞きしたい ことがございましたら ご記入ください | 講師名： ご質問： | | |

※複数名申し込みの際は、応募用紙をコピーしてください。

※本セミナーへの参加は先着順となります。




※参加区分は、交流会、現地見学それぞれについて、どちらか一方に○を付けてください。

※現地見学のみ参加はご遠慮ください。

※交流会参加費は3,500円となります(参加費は当日交流会場にて集金いたします)。

※現地見学を希望される方は、携帯電話の番号を必ずご記入ください。

平成25年度 第3回 地域力創造セミナー講師紹介

| プログラム | 氏名 | | 実績等 |
|----------|---------------------|---|---|
| リレーセッション | 木村 乃 (きむら だい) |  | <p>ビズデザイン株式会社 代表取締役 明治大学商学部 特任准教授 (H24 年度派遣地域：湖南市)</p> <p>野村総合研究所等を経て、民間人登用制度により弱冠38歳で神奈川県三浦市役所の部長に就任し、シティセールスをはじめとする観光政策に尽力。「地域再生計画」認定、フィルムコミッション事業の成功、優秀観光地づくり賞（日本観光協会）の金賞・総務大臣賞やオーライ！ニッポン フレンドシップ賞の受賞に結実。 現在は、コンサルティング会社を運営する傍ら、明治大学商学部特任准教授として地域活性化・観光プロモーション等の研究・授業を担当するなど、全国各地における観光・まちづくり、行政マネジメントの講演・研修指導にあたっている。 地域力創造アドバイザーでは、平成24年度に滋賀県湖南市を担当している。</p> |
| リレーセッション | 高橋 寛治 (たかはし かんじ) |  | <p>地域プランナー (H23 年度派遣地域：阿智村)</p> <p>長野県飯田市役所在職時は、デベロッパーやゼネコンに頼ることなく、住民と市役所が一体となって小規模の再開発を連鎖させる地方都市の中心市街地再生のモデル（飯田方式）の礎を組立。また同時期に、都市と農村の交流でお客様を受けること専門の「南信州観光公社」を法人化し、都市と農村の交流における受け入れシステムを作り、中高校生を年間3万人受け入れる。 その後、和歌山県高野町副町長に就任し、町並みの景観整備や日本で最も早く集落支援の実現を図る内発的発展のモデルとしてのまちづくりを指導。一方、民俗学を拓いた柳田國男の研究を基礎に農山村の共同体再生に取り組んでいる。 地域力創造アドバイザーでは、平成23年度に長野県阿智村を担当している。</p> |
| リレーセッション | 多田 朋孔 (ただ ともよし) |  | <p>特定非営利活動法人 十日町市地域おこし実行委員会 事務局長</p> <p>京都大学文学部卒業。元京都大学応援団第44代団長。大学卒業後は、企業の新規事業の立ち上げ支援、店舗売上拡大、組織開発・人材開発などの企業コンサルティングに従事。 2010年より地域おこし協力隊として新潟県十日町市の池谷集落に妻子とともに移り住む。 地域では、①飛渡地区全域での活動、②池谷集落を中心とする「十日町市地域おこし実行委員会」の運営、③行政や担当地域をまたがった地域おこし協力隊と連携した活動、④任期終了後定着するための準備を実践。現在は、NPO 法人十日町市地域おこし実行委員会事務局長として、都市との交流イベント（エコツーリズム）の受け入れや6次産業起業の支援を行う。</p> |

派遣地域における講師活動紹介

| 地域名 | 取組概要 |
|-----------------|---|
| 滋賀県湖南市 | <p>エネルギー・ケア・フードの地域内循環によるトライアングル型・地域力創造モデル創出事業 平成23年度の緑の分権改革モデル実証調査を通じて、エネルギー（自然エネルギー）、ケア（福祉）、フード（特産品）のプロジェクトを立ち上げ、その後、市の全庁的な支援体制のもと、地域の担い手である「こにゃん支え合いプロジェクト推進協議会」と連携し、地域力創造のための企画力、提案力、実行力、改善力を持った担い手育成を展開。継続的に新しい事業の創造が行えるようにする環境構築を目指す。</p> |
| 長野県阿智村 | <p>地域ぐるみの定住・自立むらづくり促進事業 これまで阿智村が培ってきた「社会教育」を基盤とした村づくりの手法を、産業・地域おこしから地域経営全般まで波及させるため、住民協働によるUJIターナー者受入体制構築、産品販路開拓等、地域づくりプラン作成等に取り組むことで、新しい交流の輪を広げ、住み続けたい、住んでよかった村づくりを目指す。</p> |
| 新潟県十日町市 池谷集落 | <p>『奇跡の集落』と呼ばれる集落を牽引する十日町市地域おこし実行委員会 2005年3月、中越地震のボランティア受入れ団体として設立。当初は外部団体の手助けを得ながら震災復興活動を行う。震災復興が一段落後は、「100年先を見据えた持続可能な集落作り」を『共通の明確なビジョン』として地域おこしの活動を展開。「よそ者を主役に」しながら、都会との交流イベントやお米の直販・東京への出張販売、池谷分校大改修プロジェクト、中・長期滞在の受け入れなど様々に展開。</p> |